令和元年5月29日(隔月刊) 発行/株式会社 大山組 編集/大山組営業部企画室 発行部数/110,000部

こちらまで → 📷 0120-6600-62

S様より

訪

「父の好きだったボルドー色を使った 欧風マンションが完成しました!」

中原区 S 様









奥様が作曲されたGUI(ヤドリギ)。 そのスコアで装飾されたエントランス扉







スライドドアを効果的に使った間取り

### 娘婿が大学のアイス ホッケー部時代にお世 話になった大山社長、

アクセントとなる室内

アールヌーヴォー調のシャンデリアが

そのご縁で今回の建て 替えを大山組さんへお 願いすることにしまし

た。計画を始めた頃は私がまだフランス在住で、 メールによる要望確認や提案をいただきプロ ジェクトがスタートしました。その後、日本に 帰国してからは定例会を設け、設計から収益化 までの細かな摺合せを行いました。

設計担当の方が、私の好みを咀嚼し見繕った 提案をしてくれたので、常に納得の行く効率的 な打ち合わせができました。中でも、欧州では「幸 せの扉」と呼ばれるヤドリギを装飾に使ったエ ントランスは納得の仕上がりとなりました。大 山組さんの仕事には大変満足しています。



ご主人のお仕事の関係でフランスでの生活が長 かったS様、この度中原区内にある奥様のご実家 を事務所付き賃貸住宅へ建て替えました。閑静な 任毛街に位置し、武蔵小杉と元任吉2駅を徒歩圏 内とする好立地を活かし、東京や横浜にお勤めの 方に喜ばれるおしゃれなマンションを造りました。 賃貸部は、大理石天板のキッチン、豊富な収納、

スライドドアによる省スペース化など、視覚 的にもすっきりした造りになっています。

また、奥様のお父様の好きだったボルドー を基調色にした外壁やエントフンス、事務所 にはアールヌーヴォー調のシャンデリアを飾 るなど、欧風テイストがさり気なく光る建物 が完成しました!

### 【物件概要】

- ○名称/アルページュ
- ○構造規模/RC造 地上3階建 ○敷地面積/213.21㎡
- ○延床面積/406.82㎡ ○所在地/川崎市中原区木月大町
- ○設計・施工/㈱大山組

### RESIDENCEduo

オーナー邸付き賃貸住宅

東急沿線在住の方のための 50坪から始められる土地活用。

「自邸+賃貸マンション」作りの トータルサポートサービス



## **100** 0120-6600-62

受付時間 8:00~17:30 月~金 \*土日祝休 www.ohyamagumi.co.jp

武蔵小杉エリアで70年



Tel 044-411-3708 Fax 044-433-4595 〒211-0006 川崎市中原区丸子通1丁目 640-

計画作りは、フランス在住中に始まりました。

# 小杉小の土で陶器作り!

この春開校した川崎市立小杉小学校。2017年建設工事が始まった際、掘削時に発生した 残土がとても質の良い赤土だったことから、この土を使って記念となる陶器を作ることにしま した。ご協力いただいたのは市内で陶芸教室を営む陶芸作家 加茂道子先生。試作を繰り返し た結果、腰を出すための混ぜ物の入らない、100%小杉小の土で制作することができました。 この度、開校記念として学校や工事関係者そして地域の方へ計200個が配布されました!





赤土でした。

土の回収 (袋詰め)



水 簸 (スイヒ)

灰汁を取り除く

土に混ざっている

不純物、石・植物の根、

※一日置き、同じ作業を5回ほど繰り返す

制作の 様子

「平成三十一年 小杉小」

瑠璃"ルリ"釉



フルイでこす

浮いてきた灰汁、

ごみを掬い取る

作品の乾燥後、 素焼き (800℃)



土の乾燥 どべ鉢の上で乾燥



粘土を練り、 ビニール袋に入れて 半年寝かす





ロクロ (成形)





陶芸作家 加茂道子 京都で京焼ロクロ絵付伝統技法を学び、 卒業後、陶芸教室櫻陶房を主宰。



本焼き (1240°C)



窯入れ前/素焼き/本焼き 鉄分の多さから焼き縮みも顕著!



社 長の目 ウロコが落ちる 47

私が大山組に入った20年ほど前、まだ 世の中が、なんだかんだまたバブルって 戻って来るんじゃないの?的な空気を残 していた頃、弊社でも法人顧客への接待 はごく当たり前に行われていました。

ところがめでたく令和を迎えた今日、そ れらはほとんど行われなくなっています。 取引先との金品の授受を禁ずる企業が増 えたことや、コンプライアンス精神の広が り、世代交代などで、いわゆる大人のエコ ひいきを良しとしない風潮が広がったた めと思われます。そんなわけで少なくとも 私の廻りでは接待は平成の遺物(?)とな りつつあるのです。

こんな風に書くと私が接待肯定派で、 その行く末を惜しんでいるように思われ るかもしれませんがそうではありません。 そもそも私は諸氏同様、接待していた時 にいい思い出などひとつもありませんし、 そのおかげで接待されるのもキライで、 された記憶もありません。

接待ゴルフでお客さんがボールを林に 入れたので一生懸命探していたら、グ リーン横にあった私のボールを「あっ た!」と言われて何食わぬ顔で打たれ、逆 に私がロストボールで1ペナになったり、 高級ホテルのラウンジに呼び出されたの で訳もなくワクワクして行ったら、知らな い人を紹介されて必要のない健康食品を 大量に買うハメになったり、飲むたびに同 じ若かりし日の武勇伝を10年間にわたっ て繰り返し聞かされたりと、平成では数々 の接待あるあるを経験してきました。

しかし、おかげでどんな状況でもシラを

切るハガネのメンタルや、怪しい話を嗅ぎ 分ける直感力、同じ話を繰り返し聞く辛抱 強さなど、机上では学べない勉強(?)を させてもらった気もします。

万葉集の時代から接待はあったと言い ます。人がすることにそんなに変わりがな いのであれば、令和でも接待とは程よい距 離で付き合わないといけないのかもしれ ません。ならばまずはとりあえず、ゴルフ ボールには大きく名前を書く所から始めた いと思います(^^);



### 小杉小学校 竣工式



華やかなテープカットで開式



感謝状を受け取る大山社長

平成31年3月23日(土)、完成 したばかりの小杉小学校体育館 で川崎市主催の竣工式が行われ ました。福田市長、市内の議員さん、 地域の関係者、工事関係者など 総勢200名が出席。福田市長よ り建設業者を代表し弊社代表が 感謝状をいただきました!



小杉小の土で作った陶器。企画当初、武蔵小杉 地区の土のみで制作できるのか半信半疑でした。 陶芸家の集まる岐阜県の工房に連絡を入れアドバ イスを仰ぎ、焼き物用の土作りに手間と時間がか かることを知りました。そんな中、市内で陶芸教 室を営む加茂先生の方で全面協力いただけること となり、「小杉焼」というプロジェクトネームで 制作を進めてきました。その様子を誌面に収めま したので是非お楽しみください! (た)